

Town Topics まちの話題

広報誌で紹介した写真または
データを希望者に提供します。

お申し込み 情報課広報広聴係
☎23-3069



food

(3月25日)

友好のパン釜でスウェーデンパン講習会



「とうべつ赤れんが6号」ふれあい倉庫のパン窯を使い、レクサンド市から来たパン焼き名人、アリス・グスタフソンさん、インガ・マッツソンさんの指導で、パンづくりの講習会が開催されました。

スウェーデンパンは、日常に食卓に上るものから、夏至祭やクリスマスに焼く特別なものまで多くの種類があります。今回は「ショック(厚)パン」「トウン(薄)パン」「クネッケ(固)パン」の3種類に挑戦。

原料の粉の質や、手順など、スウェーデンと日本の違いはありましたが、参加者にはパン作りの経験者が多く、名人たちも感心する焼き上がりでした。

焼きたての「ショックパン」はハーブの香りが好評で、参加者からは「いろいろな種類のパンをこの窯で焼いてみたい。」との声がありました。

symposium

(3月10日)

まちの魅力発見 景観シンポジウム



町民自らが当別町の景観について再発見することを目的に当別町景観シンポジウムがゆとろを会場に開催され、約30名が参加しました。

シンポジウムでは「冬の季節を感じるまちづくり」をテーマにした講演や当別の美しい風景のスライド、冬の楽しみ方などの紹介が行なわれ、私たちが住む当別で何気なく見ている景観の中には、美しいものがたくさんあること、美しい景観づくりは地域の重要な課題であることを確認しました。

また、当別の食材を使った、いもだんご汁、手打ちそばの試食、意見交換なども行なわれ、参加者からは「当別の四季折々の美しさや特色を再認識できた」、「自然の素晴らしさを実感しながらの生活を大いに楽しみたい」といった感想がありました。



memory

(3月26日)

蕨岱小学校 95年の歴史に幕



明治44年の開校以来、地域を見守り続けてきた蕨岱小学校が3月末をもって閉校を迎えました。

最後の登校日に児童や地域の関係者らが集まり、閉校記念式典を行い、長年親しんだ蕨岱小学校との別れを惜しまました。

式典では、児童から地域の方々や校舎に向けて「これからも蕨岱小学校でのたくさんの思い出を胸に、未来へ向って羽ばたいていきたい」と元気一杯にお別れの呼びかけを行ったほか、来場者全員で同校の校歌を歌い、思い出を振り返りました。

蕨岱小学校は、95年の歴史を終え、春からは当別小学校に統合されます。

women

(2月27日)

広げよう交流の輪 女性のつどい



当別町女性団体連絡協議会の主催で「手をつなごう・人の輪・当別の輪！」をテーマに女性のつどいが行なわれ、会場の白樺コミュニティセンターには196名の参加者が集いました。

北海道医療大学の江口正尊教授の講演、NPO法人心・体・食サポートセンターの西村幸枝理事長氏の指導で歌にあわせ、笑いながら体を動かし、心身ともに健康になろうと「演歌体操」などが行なわれました。

日頃から町内で活動する女性が主体の団体が相互交流を行なう、つながりが深まる集いになりました。

singer

(3月11日)

熱唱 当別町長杯争奪カラオケ大会



町内外から多数ののど自慢たちが、当別町カラオケ連合会の主催による、当別町長杯争奪カラオケ大会に出場し、日頃からの練習の成果を披露しました。

遠くは剣淵町からの参加者を含めた70名もの「歌手」が部門別に分かれて競い合った結果、一般の部は門馬とも子さん(札幌市)が、シニアの部は道下良子さん(北広島)が優勝に輝き、町内からの参加者も多数上位に入賞しました。

中にはプロ顔負けの衣裳に身を包み、情感たっぷりに歌い上げる出演者もあり、会場の白樺コミュニティセンターに集まった500人の観衆の耳と目を楽しませていました。